

決算特別委員会資料

議案第77号

令和2年度北九州市一般会計決算（消防局所管分）について

1	歳入決算額	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
2	歳出決算額	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
参考	消防局主要事務事業の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3

消防局

令和2年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

1 歳入決算額

（単位：円）

款	項	目	節	予算現額			調定額	収入済額	収入未済額
				当初予算額	補正予算額	計			
18	1	11	1 消防使用料	850,000	0	850,000	1,038,900	1,038,900	0
	2	9	1 消防手数料	39,073,000	0	39,073,000	38,486,275	38,486,275	0
19	1	3	1 消防費負担金(国)	4,489,000	0	4,489,000	10,101,660	10,101,660	0
	2	11	1 消防費補助金(国)	3,535,000	99,522,000	103,057,000	72,874,225	72,874,225	0
	3	6	1 消防費委託金(国)	3,000,000	0	3,000,000	2,880,625	2,880,625	0
20	1	6	1 消防費負担金(県)	85,000	0	85,000	135,000	135,000	0
	2	9	1 消防費補助金(県)	104,947,000	0	104,947,000	104,654,000	104,654,000	0
21	1	1	1 土地貸付収入	2,395,000	0	2,395,000	2,189,832	2,189,832	0
			2 建物貸付収入	4,793,000	0	4,793,000	5,352,672	5,352,672	0
23	1	4	1 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	8,000,000	△ 8,000,000	0	0	0	0
25	6	4	30 消防費雑入	124,756,000	0	124,756,000	124,279,143	124,279,143	0
26	1	11	1 消防債	1,305,200,000	21,700,000	1,326,900,000	1,202,700,000	1,202,700,000	0
合計				1,601,123,000	113,222,000	1,714,345,000	1,564,692,332	1,564,692,332	0

2 歳出決算額

（単位：円）

12款 1項 消 防 費	予算現額				支出済額(B)	翌年度 繰越額(C)	不用額 (A-B-C)
	当初予算額	補正予算額	予備費支出 及び 流用増減	計(A)			
1目 消防職員費	9,514,723,000	△ 42,832,000	0	9,471,891,000	9,242,268,259	0	229,622,741
2目 常備消防費	817,235,000	53,769,000	49,000,000	920,004,000	810,062,648	71,000,000	38,941,352
3目 非常備消防費	423,758,000	△ 8,226,000	0	415,532,000	373,499,147	0	42,032,853
4目 消防施設費	1,876,473,000	42,400,000	0	1,918,873,000	1,806,992,656	59,688,000	52,192,344
合 計	12,632,189,000	45,111,000	49,000,000	12,726,300,000	12,232,822,710	130,688,000	362,789,290

消防局主要事務事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
地域の総合的な災害対応力の強化	① 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	老朽化した消防団施設の建替えによる耐震化を計画的に進めるとともに、消防団装備の充実強化を図った。 また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図った。 ◆門司消防団第10分団猿喰支部新築 ◆戸畑消防団第5分団本部新築 ◆乙種衣220着、防火衣250着を整備 ◆トランシーバー382台、防じんメガネ1,218個 防じんマスク3,900個	106,497
	② 市民防災活動への支援 【2目 常備消防費】	「市民防災会」を対象に防災リーダー研修を24回(593名)実施するなど、地域の防災力向上のための支援・指導を行い、消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進した。	6,585
	③ 応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民の救命効果の向上を図るため、AEDの取り扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を行い、各種救命講習を278回(4,632名)実施した。	793
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	④ あんしん通報システム 【2目 常備消防費】	ひとり暮らしの高齢者や重度の身体障害がある人などの世帯に火災センサーなどを接続した緊急通報装置を設置し、火災・救急等の緊急事態や相談通報などへの対応を行うことにより、安心して生活できるよう支援した。 ◆令和2年度末 稼働数：2,729台	605 ※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 51,464
	⑤ いきいき安心訪問の推進 【3目 非常備消防費】	介護職員初任者研修を修了した消防団員が中心となり、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身の回りのお世話を行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図る。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止した。	0
	⑥ 住宅防火対策の推進 【2目 常備消防費】	住宅火災による死者の発生を防ぐため、設置から10年が経過した住宅用火災警報器の交換と定期的な点検・清掃について啓発を強化するなど、高齢者世帯等を中心とした住宅防火対策を推進した。	790
	⑦ Net119緊急通報システム 【4目 消防施設費】	119番通報が困難な聴覚又は音声・言語機能の障害や疾病等がある方が、外出先からでも、スマートフォン等の簡単な操作で119番通報ができるシステムを運用した。 ◆令和2年度末 登録者数：88名	1,844

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
あらゆる災害に対応できる消防力の強化	⑧ 水難救助用資器材整備事業 【4目 消防施設費】	近年の豪雨災害における教訓を踏まえ、救命胴衣やウェットスーツ等の水難救助用資器材を整備した。	5,735
	⑨ 救急体制の充実強化 【2目 常備消防費】	救急救命士8名（6名を新たに資格取得させ、病院実習未修了者2名を病院実習に派遣）を養成した。	15,481
	⑩ 第49回全国消防救助技術大会の開催 【2目 常備消防費】	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年度に延期された。万全な感染症対策の検討やシンボルマークデザインの作成等の企画を行い、開催の準備を進めた。 ※令和3年6月25日に中止が決定された。	996
	⑪ 消防通信指令システムの間接更新 【4目 消防施設費】	119番通報の受付から消防部隊の編成や出動指令など、消防活動の土台となる消防通信指令システムについて、今後の安定稼働と長期継続使用を可能にするため、ハードウェアやOSの一部を更新する。 ◆令和2年度 契約締結 ◆令和3年度末 運用開始予定	0 ※令和2年度は契約のみ 【債務負担額】 971,400千円
消防施設等の整備	⑫ (仮称) 楠橋分署の移転新築 【4目 消防施設費】	八幡西区南部の消防力の強化を図るため、老朽化した楠橋分署を金剛分署として移転した。 ◆令和3年3月20日 開署	321,447
	⑬ (仮称) 島郷分署の移転新築 【4目 消防施設費】	若松消防署ひびきの分署新築に伴い、若松区の消防力適正配置の観点から、老朽化した島郷分署と藤ノ木分署を統合し、石峯分署として移転した。 ◆令和3年4月1日 開署【繰越額：22,688千円】	349,266
	⑭ 消防団施設の耐震化 【4目 消防施設費】	災害発生時等の防災拠点となる消防団施設の耐震化を促進するため、耐震診断の結果に基づき、耐震補強工事を行った。 ◆門司消防団第8分団白野江第2支部 ◆小倉南消防団第5分団曾根新田支部 ◆小倉南消防団第6分団下貫支部	5,781